

# みせん

瀬戸内海国立公園  
宮島地区パーク  
ボランティアの会

第58号

発行日  
平成26年12月1日

## ◇ 目 次 ◇

- |                                     |                                           |
|-------------------------------------|-------------------------------------------|
| P2 佐木島研修交流会                         | P5 樹木名板維持管理                               |
| P3 入浜定点観察③および維持管理作業                 | P6 曼荼羅異聞                                  |
| P4 ハチクマの渡り観察<br>入浜池補足調査④            | P7 公募観察会（鷹ノ巣高砲台）<br>みせん増刊号の入手について<br>編集後記 |
| P5 紅葉谷公園歩道補修・清掃<br>はつかいち環境フェスタ 2014 |                                           |



ハマナデシコ広場に咲くキキョウ(桔梗)

- ・海から絶え間なく吹き上げる潮風
- ・山肌からにじみ出る水は岩石の割れ目に沿って流れ落ちる
- ・やがてその水も太陽熱で暖められ岩盤によって蒸発する
- ・栄養分らしきものはハマナデシコやハマボウスなどの落ち葉
- ・生きるための環境は最悪 それでもキキョウの花は美しく海に向かって咲き誇っていた
- ・花言葉は「清楚、気品」
- ・本来キキョウ（桔梗）は山野の陽当りの良い所に育つものであるが、宮島のキキョウは海岸の岩場に咲いている。昔、宮島が本土と陸続きであったことを証明する貴重な植物なのだろうか。  
(P3に関連記事) (文・写真：中道 勉)

# 佐木島研修交流会

## ー 佐木島のボランティアガイドとの交流 ー

日時：平成 26 年 10 月 18 日（土）晴れ  
 参加者：足立 岩崎 大西 川崎 北野 黒木  
 小林ペア 佐藤(庸) 島 末原 中道  
 野呂田 平田(攻) 平田(広) 舩田 山本  
 横路

宮島地区パークボランティアの研修交流会があり、初めて参加しました。研修場所は三原市の沖にある佐木島という島です。この秋一番という冷え込みの中、7時半に宮島口を出発しました。本郷 IC で下りて、三原港からフェリーに乗り、途中、新藤兼人監督の映画「裸の島」のロケ地となった「宿弥島(すくねじま)」を見ながら、佐木島に到着しました。「さぎしまを愛するボランティアガイド」のメンバーたちが横断幕を掲げて、熱烈に歓迎してくれました。さっそく歩きながら交流し、海岸で「海浜セラピー」を体験しました。



海浜セラピー

「海浜セラピー」とは海や砂浜がもたらす癒しやリラクゼーション効果を健康増進に活用するもので、県立広島大学とともに、全国で初めて、その活用に取り組んでいるそうです。五感を働かせて、海と空の色、波の音、潮の香りなどを体感し、大声を出して心身を開放しました。最後に、砂浜にマットを敷き、ストレッチとヨガを行い、足のマッサージや呼吸法により、体が軽くなりました。青空の砂浜で、ヨガをするのは初めての体験でしたが、リラックスできました。島内を歩いて、植物や鳥を観察しながら、長浜海岸に着き、ハマゴウ、ハマボウフウなどの観察をしました。予定よりずいぶん遅れていたようで、裸歩(らっぱ)という砂浜を特殊なくつで歩く体験

は残念ながらできませんでした。非常に天気がよく、きつい日差しの中を歩いて 12 時 20 分に交流会の会場に到着しました。会場では「ホットマザーズ工房」の方たちによるワケギやタコ、モロッコマメなど地元の食材を使った手料理をバイキング形式でごちそうになりました。心のこもった料理を頂き、話しながら交流することができました。

パワーポイントにより「さぎしまを愛するボランティアガイド」の活動を紹介していただきました。会は平成 18 年に発足し、現在 20 名だそうです。特に観光振興とおもてなしに力を入れているのがわかりました。広報活動も積極的に行い、各種のパンフレット作成のほか、旅行会社や JR とタイアップした宣伝・集客活動も行っているのが印象的でした。



やっさ踊りで見送り

帰りのフェリーは、交流会場のすぐ近くの向田港からでした。港では、栈橋で、三原の「やっさ踊り」を踊って見送ってくれました。最後まで印象に残るボランティアガイドの方たちのおもてなしでした。

(文と写真 山本 昌生)

### 佐木島五句

- ◇ 砂浜の五感体験ヨガさやか
- ◇ 佐木島のうずしおロード通草<sup>あけび</sup>熟れ
- ◇ 剥落の磨崖石<sup>まがい</sup>仏そぞろ寒
- ◇ 佐木島に賜る元気菜種<sup>なづな</sup>蒔く
- ◇ もてなしのやっさ踊りに見送られ  
黒木 隆信



## 入浜池定点観察③および維持管理作業

日 時 9月13日(土) 9:00~12:00

場 所 入浜

参加者 岩崎 大西 小方 小川 恩田 川崎  
黒木 小林ペア 佐藤(佐) 末原 兎谷  
中道 錦織 檜和田 松田 村上 横路

【環境整備】恩田 浩幸

当日は晴々とした秋空、というよりもまだまだ暑い日差しの中、作業を行いました。7月・8月は大雨が降り9月に真夏日並みの気温、まさに異常気象で、これも地球温暖化が成せるわざでしょうか。



さて当日の入浜は、牡蠣殻パイプは少なくペットボトルや発泡スチロールが散乱していて、先日の大雨で流されたのではとの意見もありました。海を愛し利用する人が海を汚してどうするのと思いますね。この辺の意識が少しでも変わればと思いながら毎回清掃活動していますが・・・

【植物】小林 みどり

広島ではかなりの高さまで伸びるカヤツリグサですが宮島では鹿に食べられるので大きくなならないまま穂をつけている。オオバコなどもあります。矮小化しています。(鹿による被害は植物にも及んでいる。)

中道さんより「ハマナデシコ、ハマボッサが咲いていた岩場にキキョウが咲いていた。」とのこと。(表紙の写真参照)

【水質】小川 加代

大潮の為、各地点の塩分濃度が高かった。A地点 0.23%、F地点 0.98% 但し、山から水が流れているC' D地点は 0.00%。CODはD地点 10、中央 8、他は 5。PHは全体的に低めで、A地点 6.5、中央 5.5、C'地点 5.1

【昆虫】松田 賢

トンボが一番多かったのはウスバキトン

ボ、赤い色をしているがアカトンボの仲間ではない。このトンボは冬場は日本で越冬できない種類です。毎年6月頃、モンスーンに乗って日本にやって来る。25度を超えると2週間で親になるという成長スピードの速いトンボですので途中で何世代か繰り返します。それがどんどん春、夏に出てきたものが今、一番多い時期でそれが今、池の周りを飛んでいる状況です。

それ以外は未だ夏場の色合いが濃いのでギンヤンマ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、オニヤンマ、イトトンボの仲間はアオモンイトトンボだけ、アカトンボの仲間のリスアカネは、毎年入浜では多く見られます。

アキアカネ、タイリクアカネは未だ山から下りてきていないようで見られなかった。ヤゴはイトトンボの仲間、シオカラトンボ、ウスバキトンボが確認された。

水生昆虫はメダカ、チチブ、ゲンゴロウ、コマツモムシ、ミズカマキリ

また、小林(勗)さんが砂浜と同化した珍しいヤマトマダラバッタを見つけ、写真に収めました。



【野鳥】大西 順子

15種類を確認できた。キジバト、アオサギ、ダイサギ、ミサゴ、トビ、コゲラ、ヤマガラ、ヒヨドリ、ウグイス(囀りもするが冬の鳴き声の地鳴きも聞く)、ハシボソカラス(声だけ)エナガのファミリー(エナガは10個ぐらいの卵を産むが半分以上、テンとかカラスに襲われる宿命にあるそうです。)、メジロの群れ、コサメビタキ、セグロセキレイ、ホオジロ。

(以上まとめ 小林(勗))

## ハチクマの渡り観察

日 時 9月18日(木)9:00~12:00

場 所 佐伯区佐伯運動公園

参加者 大西 小方ペア 川崎 小林(勅)

兎谷 中道 村上

曇りがちの空は間もなく秋晴れの青空へと変わってきた。日差しも強くなった。となれば、上昇気流も上がるだろう！期待できそうだ。この観察地は、360度見渡せるのが良さ。

しかし、ハチクマという大きな鳥が、小さな点となって現れて上昇気流をとらえて旋回しながら高度を上げる様子は、その多くがずいぶん遠くて、ゆっくりと確認できず、残念だった。まして、豆粒で現れた姿が、そのまま風に乗って通過する個体も多く、観察としては、消化不良気味であった。そんな状況だったため、個々に確認できたハチクマの数はまちまちであった。

天高い秋空の下で、季節の移ろいを感じながら、清々しい半日を過ごすことができた。



ハチクマ



コサメビタキ

観察で  
きた野鳥  
計 21 種

『タカの仲間』

ハチクマ 28 (専門家によると 85)、ツミ 1、サシバ 1、ハヤブサ 1、オオタカ 1、トビ 5、

『その他』

キジバト、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、カワラヒワ、コサメビタキ他

(文と写真 大西 順子)

## 入 浜 池 補 足 調 査 ④

日 時 10月11日(土)

天 候 曇り

参加者 大西 小川 小林ペア 中道 松田  
横路 六重部

【植物】六重部 篤志

一回りしたが別段、目新しい物は見当たらなかった。今まで気がつかなかったのか崖の方にハギが一株あり、花の色からツクシハギだろうと思います。

【水質】小川 加代

今日は塩分が各地点で計測された。水がいつも湧いている C'地点では計測できませんでした。ちょうど 11 時 20 分頃が満潮だったので B 地点だけ計測してみると 1.8%でした。PH は塩分 0%のところで 7.0、他のところも 7.0~7.9 で海水の影響が強いことがわかります。COD は E 地点で 20、結構汚れている。海水の流入の F 地点 10、A 地点で 5。水温は A 地点で 18℃、中央で 21.9℃、平均で 20℃位。水面の高さは 10 時 35 分頃 B 地点で杭の設定目盛りより -1cm で 11 時 20 分の満潮時には +7cm で 8cm 水面が高くなっている。今日は大潮で海水が入り込んだことを示しています。

【トンボ及び昆虫】松田 賢

今日は非常に少なかった。ほとんどがアカトンボの仲間の羽根の先が茶色のリスアカネがヒトモトスキの中



リスアカネ

で餌を捕食していた。あまり繁殖行動は見られなかった。多分、天候がよくなかったので活動が活発ではないのでしょう。後はアオモンイトトンボ他 4 種を確認しました。昆虫ではコオロギの仲間のカネタタキとタンボコオロギ。チョウは、サツマシジミ他 6 種。

今日の特徴的はジョロウグモがたくさん目に付いたこと。大きなメスの周りに小さなオスがたくさんいた。巣を張る位置は人間の腰の上ぐらい。

鹿がヒトモトスキの実を食べていて、あまり見かけない光景でした。

(P5 へ続く)



(P4より)【野鳥】大西 順子

ジョウビタキの雌(冬鳥でこんなに早い時期に見ることは今まで無かった)、キジバト、カワウ、アオサギ、ウミネコ、セグロセキレイ、ミサゴ、トビ、ハシブトカラス他

小鳥が 100~200 の単位で飛んでいましたが種を確認することができなかったのが残念でした。

(以上まとめ 小林(勗))

## 紅葉谷公園歩道補修・清掃

日 時 10月25日(土)9時~12時

参加者 足立 岩崎 小方 恩田 金山 釜谷 川崎 黒木 小林(勗) 佐藤(佐) 佐藤(庸)

渋谷 末原 錦織 野呂田 平野 舛田 三次 村上 山崎 山本 横路 吉崎(宮島さくら・もみじの会としての参加者を含む)

研修中の会員候補 6名

環境省 榎自然保護官 大高下 AR



2014/10/25 側溝の清掃

宮島栈橋前の「もみじ便り」では備北は「やや色づく」との表示でしたが宮島はまだ梢の一部が紅くなっている程度でした。

本年は「宮島さくら・もみじの会」およびJR社員、合わせて約70名と協同で、紅葉谷公園周辺の清掃作業を行いました。

当会は8月の大雨などにより枯枝や土砂が大量に埋まった側溝の掃除と園路の補修を担当しました。

途中から研修中の会員候補6名が加わったためか、現会員がいつもより張り切って作業しているように感じました。(川崎 昭壽)

## はつかいち環境フェスタ 2014

日時 10月26日(日) 10時~15時

場所 廿日市市スポーツセンター

参加者 岩崎 大西 川崎 佐藤(佐) 兎谷 野呂田 平田(広) 村上

環境省 大高下 AR

廿日市市主催の「環境保全」をテーマとしたイベントに参加して当会もパネル7枚とポスター、当会の紹介パンフなどを展示しました。当会のブースには真野廿日市市長はじめスタンプラリーのスタンプを押しに来る子供たちが大勢押しかけ賑やかでした。最後にFMはつかいちの取材申し込みがあり、11月14日の放送に村上会長が出演しました。

(川崎 昭壽)



2014/10/26 小学生の来客多数

## 樹木名板維持管理

日時 11月1日(土)9時~12時

場所 うぐいす歩道~紅葉谷公園~大元公園

参加者 岩崎 川崎 小林(勗) 佐藤(庸) 舛田 村上 研修中の会員候補 6人

環境省 大高下 AR

前日の雨天により、中止になるかと思いきや、当日朝の降水確率が40%に急変、急遽実施することになりました

幸い作業中は雨も降らず、2班とも無事に終わることができました。担当のうぐいす歩道で気づいたことを少し・・・名板の位置が高くなって手が届きにくいものが増えたように思いました。

また、足元が危ない箇所もあり

(谷や崖上だったり)、掛けなおした方が良さなものもありましたが、“脚立”とメモして今回はそのままにしました。

(舛田 祐子)



名板の架け替え

## 『曼荼羅・異聞』 平田広三郎

「宮島二流記 その11」で、弥山・求聞持堂裏の「岩に彫られた曼荼羅」について述べましたが、「芸州厳島名所図絵」には人が岩の上で曼荼羅を写し採る図があります。ただ 上記場所は現在危険なため立入禁止ですが、宮島航路・松大船の船内ビデオで一瞬見ることができます。

弘法大師空海は曼荼羅の種類を四つに分けています。一つ目は大（尊形）曼荼羅と言って、仏様の世界を仏様の姿で現したもので、よく御存じの密教の主要経典である「大日経」・「金剛頂経」による胎蔵界・金剛界曼荼羅に代表されるものです。



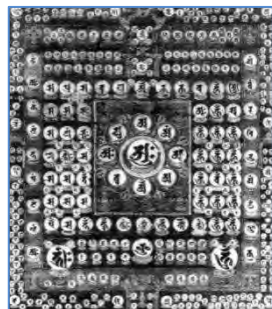
胎蔵界曼荼羅



金剛界曼荼羅

二つ目は法曼荼羅と言って、仏様の尊名をイニシャルのように一文字の梵字（種字）で現したものです。密教行者が旅先において梵字一文字で本尊を観想できるようにしてあるのかもしれません。

1984 年「NHK テレビ」が「尼将軍・北条政子（源頼朝の妻）の髪の毛が見つかった」と放送しています。それは鎌倉幕府二代将軍源頼家（1204 年殺害）が幽閉された伊豆の修善寺に大日如来の仏像（承元 4 年：1210 年実慶作の墨書あり）があつて解体修理したところ、胎内から血液型 O 型で少し白髪が混じった髪の毛が出たことを放送したものです。それとは別に熱海の伊豆山神社には女の髪の毛を縫い取った「梵字の曼荼羅」があり、掛け軸の裏には「政子の髪で作った」と書いてあります。こちら血液型は O 型で科学警察研究所の鑑定では、先の髪の毛の主と同一人物



とされています。ただ 1210 年は頼朝の死から 10 年以上も経過しており、しかも頼家の七回忌に当たることから、頼家の未亡人・辻殿のものではとも言われています。

一方「吾妻鏡（鎌倉幕府の公式歴史書）」には頼朝の一周忌（1200 年）の法要に阿字（梵字）の掛け軸を作ったとあり、「御台所（将軍の妻）が除髪（剃る）せしめ給うた髪でこれを作った」と記されており、政子もまんざら「髪の毛の曼荼羅」と因縁はないようです。

三つ目は羯磨（カツマ：作業）曼荼羅で、仏様それぞれの活動作業を表すため、仏像仏具で立体化したものです。



新幹線京都駅近くで見える五重ノ塔のある東寺には「立体曼荼羅」があります。東寺（教王護国寺）は空海の京都での修行場所だったところですが、講堂の仏像を正面から見ると立像が並ぶだけに見えるのですが、上から見ると大日如来を中心に 21 体の仏像が、空海独自の密教による鎮護国家への強い思いを表す形で曼荼羅模様に配置されています。

四つ目は三昧耶（サンマヤ）曼荼羅で、仏様の各々の特徴を示す持ち物で現したものです。私もあまり見たことがありません。

以上の四つは「見える曼荼羅」ですが、空海は人間の心を「秘密曼荼羅」とも呼んでいます。

ちなみに異聞とは珍しい話のことです。

## \* 参考文献

- ・「ごめんあそばせ 独断日本史」  
杉本苑子・永井路子 中公文庫 1988
- ・「密教と曼荼羅」 世界文化社編 2005
- ・「曼荼羅美の世界」 眞鍋俊照  
人文書院 1980
- ・「大法輪」 大法輪閣 平成 23 年



# 公募観察会(鷹ノ巣高砲台)

—環境省国立公園 80 周年パートナーシップイベント協賛—

日 時 11 月 22 日(土) 9:30~15:30

場 所 包ヶ浦～鷹ノ巣高砲台跡

参加者 岩崎 大西 小方 川崎 北野 黒木  
小林ペア 佐渡 佐藤(佐) 島 末原 兎谷  
中道 野呂田 村上 山崎 呼坂 六重部  
研修中の会員候補 4 名

環境省 武石自然保護官

公募参加者 35 名。

午前 9 時 15 分より受付、注意事項を伝達し、ストレッチ体操後、4 班に分ける。今回は若き山ガール 3 名も参加し快晴の中、10 時スタート。前夜の雨で、コシダや木の葉の滴がかかり、歩きにくいと思われたので、4 名の露払い先発隊に指名されました。下見時のコシダ刈りは汗びっしょりになりましたがまさか、観察会でも露払いで大汗をかくとは思っていませんでした。

11 時 30 分  
中道さんより、  
鷹ノ巣高砲台  
の作られた時  
代の歴史的背  
景や現存施設



高砲台跡での説明

の説明を砲座跡・砲側庫等の写真でユーモアたっぷりに行い、皆さんの笑顔を誘っていました。明治時代の大砲の演習写真もあり、大砲を操作する軍人や指揮をする上官も写り、鷹ノ巣高砲台の当時のあり様が思い浮かぶようで、良かったと思いました。

昼食は暖かい砲座跡で食べましたが、目の前に歴史遺産を見ながらの食事で夢が膨らみ、大変楽しいものでした。その後、砲兵指令所跡や観測所跡などを見学。PV が補修した階段の土嚢がきちんと確保され、安全に通れました。いい仕事してますね！！

13 時 30 分  
車道コースを  
スタート。早  
速、珍しいト  
キワガキに目  
が点。小ささ



サカキカズラの果実

と冬でも葉が落ちない説明を聞き名前の由来に納得。サカキカズラの美しい白い毛を

つけた種子の標本を見て感動していると、今にも飛び出しそうな種子を発見。飛ぶところを観たかったが残念。大きな毛で遠くまで飛ぶのは、自分の木の近くに落ちると発芽しにくいし、育たないので遠くに行く必要があるそうです。自然の知恵ですね。

包ヶ浦自然公園の芝生がイノシシの被害で、かなり掘り起こされ、他でも被害の痕跡が多々ありました。なにか有効な手を打たないと自然公園のイメージが損なわれると痛感しました。

心配された滴はさほどでもなく、大変良い天候に恵まれ、15 時 30 分に無事解散。

公募参加者の方や研修中の皆さんは大変お元気で、我々会員の方が心配です。杞憂でしょうか？ (佐藤 佐十四)

## みせん増刊号(入浜調査報告集)の入手について

「みせん57号」に記載していますが、11月から宮島の環境省詰所が使えるようになりました。紙コピー(両面・片面)・CDおよびUSBメモリを置いていますので活用ください。ただ詰所のコピー機でのコピーはしないでください。(広報部会)

## ◇ 編集後記 ◇

天変地異が頻発した平成 26 年もあと 1 ヶ月で終わろうとしている。宮島栈橋ターミナル耐震化工事も一部完了し詰所も再開した。来年度は新しい会員も加入することになっている。気分を一新して頑張ろう！

## 瀬戸内海国立公園 宮島地区パークボランティアの会

事務局：環境省 中国四国地方  
環境事務所 広島事務所  
(〒730-0012)  
広島市中区八丁堀 6 番 30 号  
広島合同庁舎 3 号館 1 階  
TEL 082-223-7450 FAX 082-211-0455